
＜巻末資料1＞

“ことづくり”のための“ひとづくり”

参考事例集

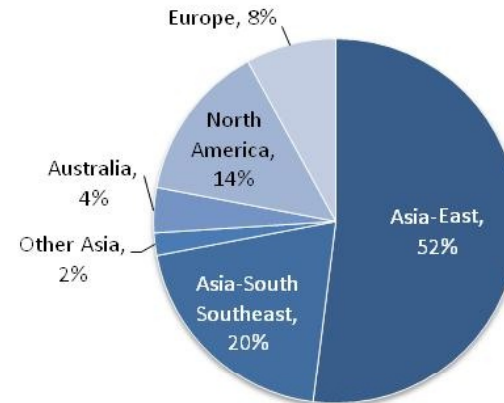
参考1：多様な人材の融合が可能な教育事例

●一橋大学国際企業戦略研究科-国際経営戦略コース-

■少数精鋭による全日制の英語でのMBAプログラム。学生は留学生が主で高い就職率が特徴

【概要】

- ✓入学時期は9月。
- ✓入試（海外から電話でのインタビュー可）、授業（全日制）はすべて英語で、海外学生比率は88%。
- ✓自ら行動を開始し、実行し、イノベーションを起こせるビジネスリーダー（キャプテン・オブ・イノベーション）の養成と、日本発の研究成果をグローバルに普及させることを目指す。



図：海外学生の出身国内訳

【教育の特徴】

- ✓授業はケース・メソッドに加えて、「ナレッジ・マネジメント」など特色ある授業。
- ✓教育の質を維持するため、定員は1学年60名に制限。学生と教員の比率は3対1。
- ✓理論を実際のビジネスへ応用すべく、企業を対象にしたフィールドスタディの機会があり、結果は経営陣に対してプレゼンテーションする。

出所：一橋大学大学院国際企業戦略研究科HP（日本語/英語）を参照し、作成



人材融合の観点において、社内教育としても参考になる点が多い

参考2: アイデアや人材の融合の「場」を提供している事例

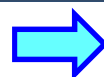
●意図的にアイデアを融合させ、具現化するための「場」を提供している

フィンランド Aalto大学では、ディスカッションにより具体化されたコンセプトをすぐにプロトタイプ化するための実践の「場」を設けており、高速で価値の見える化と試行を可能としている

Aalto大学の設置する「場」(左はディスカッションスペース、右は実験ラボ)



<経産省「新しい事業を構想・創造する人材を輩出する仕組みを考える研究会」資料より抜粋>



企業においても同様の試みを検討すべきである

参考3：経営の「型」を教えている例

●一橋大学商学研究科経営学修士 (MBA)コース

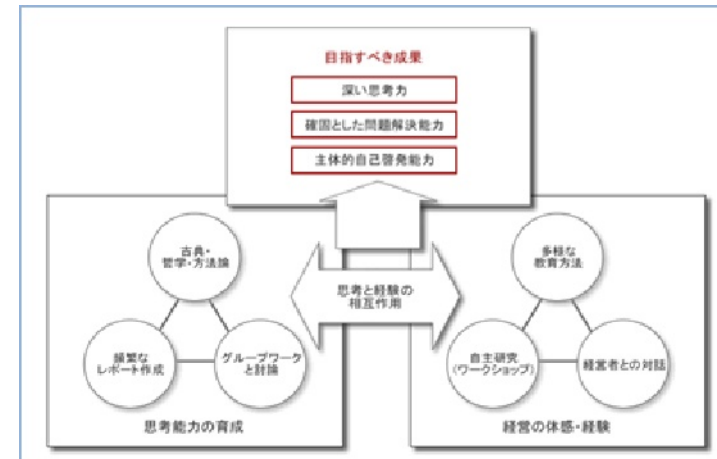
■ビジネスの現場での問題解決に必要な思考能力の育成を目指して、古典・哲学・方法論教育を重視。

【概要】

✓2001年4月に開校した全日制的MBAコース。

✓現実の企業・産業で生じる複雑な現象に対して体系的・理論的知識に基づく、深い分析力で解決策を提示できる実務家の育成を目指す。

✓02年度から企業幹部向けプログラム開発も開始。



【教育の特徴】

✓ビジネス実務で必要とされる専門知識を十分に身につけた上で、少人数のゼミ形式により徹底したコースワークや社会科学の古典の精読といった”理論指向のカリキュラム“の実践を重視。

【講義例】

必須科目：経営戦略・組織論、企業財務、経営哲学など

選択科目：技術戦略論、研究開発マネジメント、部品調達戦略、プロジェクトマネジメントなど

【企業からの寄附講座・プログラム (選択科目)】

サービスマネジメント (寄附者：JR東日本・JTB)、M&Aの理論と実務 (みずほ証券)、企業家と社会 (渋沢栄一記念財団)、海外研修プログラム (みずほ証券商学研究科研究教育助成金) など多数。

出所：一橋大学大学院商学研究科経営学修士コースHPを参照し、経済同友会事務局にて作成

参考4：イノベーション教育を行っている事例（海外）

●欧米の大学ではデザインシンキングを元にしたイノベーション教育を行っている

スタンフォード大学d.schoolでは、ビジネス、テクノロジー、人間の願望を融合させ、事業をデザインできる人材育成のために「型」としてのデザインシンキングを教えており、またプロトタイプ作成などを行う「場」も設置している

スタンフォード大 d.schoolとは

【概要】

- イノベーション教育においてデザインシンキングを活用し成果を上げている世界的に着目されている大学
- 正式名称は、Hasso Plattner Institute of Design at Stanfordである。ドイツのソフトウェア企業であるSAPの共同設立者、Hasso Plattnerが、3,500万USDを寄付し、2005年にIDEO創設者兼CEO(当時)であり、スタンフォード大学教授のDavid Kelleyがディレクターとなって設立
- デザイン思考を学び、実践するための場を提供
- 学生が直接所属しているわけではなく、スタンフォード大の各学部/大学院の学生がデザイン思考をここで学び、それぞれの分野で活かしてもらうことを目的としている

【設立背景】

【養成している人材像】

- ビジネス、テクノロジー、人間の願望を融合させ、事業をデザインできる人材

【教育内容・手法】

- デザインシンキングを学ぶための実践型の授業と、プロトタイプが行える「場」も設定されている
- MBA、education、engineerなど多様な人々が共同で履修をする
- 企業やVCなどが資金提供、そこからstartupに入るcaseもある

d.schoolが教える「型」としてのデザインシンキング



プロトタイプ作成を行うための「場」



21

参考5：イノベーション教育を行っている事例（海外）

フィンランド Aalto大学では、学士課程で専門性を深め、修士課程で専門性を横につなげることを通じてビジネス、デザイン、テクノロジーをコーディネートできる人材を養成している

Aalto大学の教育内容・方法

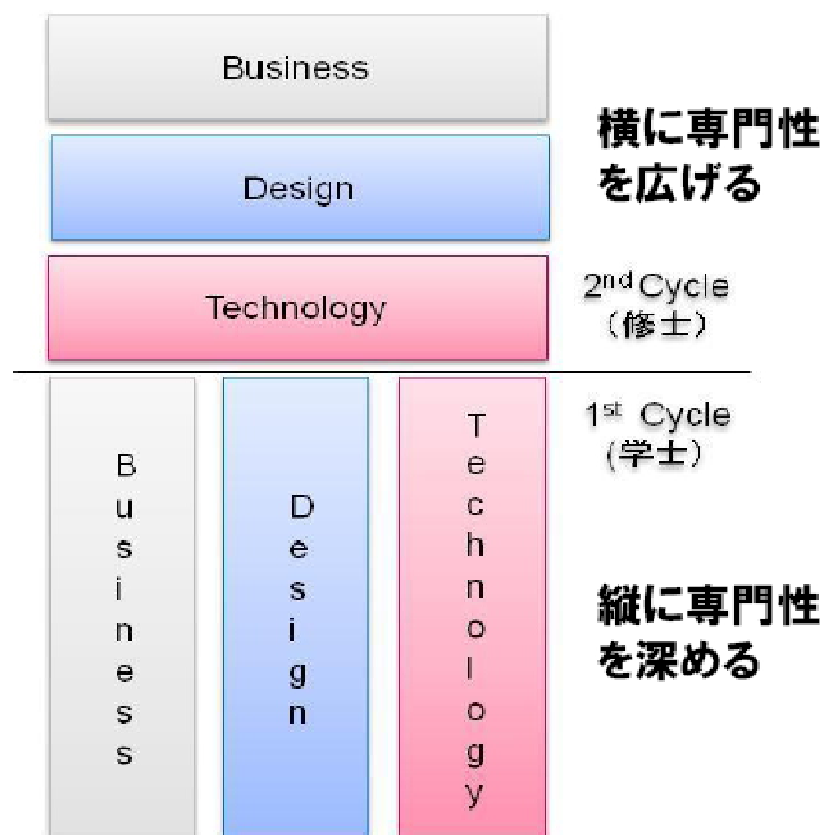
【教育内容】

- 学士課程では、ビジネス、デザイン、テクノロジーのいずれかの分野について研究し、それぞれの分野の専門性を高める
- 修士課程では学士課程で研究した分野とは別の分野について研究を行い、ビジネス、デザイン、テクノロジーを横断的に扱えるように教育される
- 実際に、学士と修士課程で研究分野が異なる人材が9割以上。学士課程の専門分野を修士でも引き続き研究する人は全体の1割程度

【教育方法】

- 教授は、既存の3つの大学の教授で構成されている
- 修士課程では、一つのカリキュラムを専門分野の異なる教授2名が担当するといった対応をとっている。例えば、デザインの授業においてデザインを専門とする教授とテクノロジーを専門とする教授の2名体制で教えることで分野横断的な考え方や手法を養っている

Aalto大学のカリキュラム



<経産省「新しい事業を構想・創造する人材を輩出する仕組みを考える研究会」資料より抜粋>

参考6：イノベーションプロセスの実践事例（国内）

●富士ゼロックス社でのイノベーションプロジェクト実践 / IDEO社との共創



<富士ゼロックス社資料より抜粋>

参考7: ビジネスデザインについての教育を行っている事例

●イリノイ工科大学デザイン専攻 (Illinois Institute of Technology Institute of Design)

【概要】

✓ Master of Design / MBAのDual Programを持っている

✓ 1937年に「ニューバウハウス」として設立され、米国最大でフルタイムの大学院のみのデザイン専攻科として発展し、世界各国から学生を集める。91年に米国で初めてPh.D. コース開始。

✓ 以下の分野で専門的スキルを身につけデザイン修士の学位取得が可能

- communication design, interaction design, product design and development, strategic design, systems thinking, and user research

✓ 中堅の社会人向けの9カ月のプログラムとしてMaster of Design Methodsあり。

【Master of Design / MBAコース】

グローバルな組織でイノベーションを主導できるような組織横断的な人材養成を目指して設置された。ユーザー中心の、メソッドに重きを置いたIDのアプローチと、IIT's Stuart School of Businessのマーケティング、プロジェクトアカウンティング、組織行動といったイノベーションマネジメント教育を組み合わせたプログラムにより、広範にイノベーションプロセスを学生に学ばせることを意図している

<イリノイ工科大学HPより抜粋>

参考8: ビジネスデザインについての教育を行っている事例

●九州大学大学院芸術工学府 デザインストラテジー専攻

【養成している人材像】

社会人の基本的な資質に加え、高度デザイン能力として、事物のデザインコンセプトを決める構想力・個別課題対応能力を持ちながら、その企画、生産、知的財産化、流通、販売までのデザインビジネス過程を推進・支援する能力(デザインストラテジー実践能力)を有する人材

【講座別概要】

✓デザインビジネス講座

デザインビジネスの基礎から知的財産として活用する専門知識までを学び、さらに社会、経済、産業との関わりから新しいデザインニーズを開拓し、解法に結びつける方法論を構築できる能力を養成。

✓ストラテジックアーキテクト講座

生活環境を形成する都市・建築デザイン、空間デザイン、インダストリアルデザイン、生活文化デザインなど、幅広いデザイン領域において、デザインビジネスとの統合を踏まえたデザインストラテジー方法論を構築できる能力を養成。

✓ストラテジックエクスペリエンス講座

情報環境を形成する映像デザイン、インタラクティブデザイン、リスニングデザイン、イベントデザインなどの情報デザイン領域における、デザインビジネスとの統合を踏まえたデザインストラテジー方法論を構築できる能力を養成。



＜九州大学大学院芸術工学府 デザインストラテジー専攻HPを参考に経済同友会事務局にて作成 (一部HPより抜粋)＞

参考9：ビジネスモデルの「型」を教えている例

●東京農工大学大学院 工学府産業技術専攻

【教育目標】

- ✓技術系企業の社会的責任を果たせる「よき企業人」の育成。

【教育の特徴】

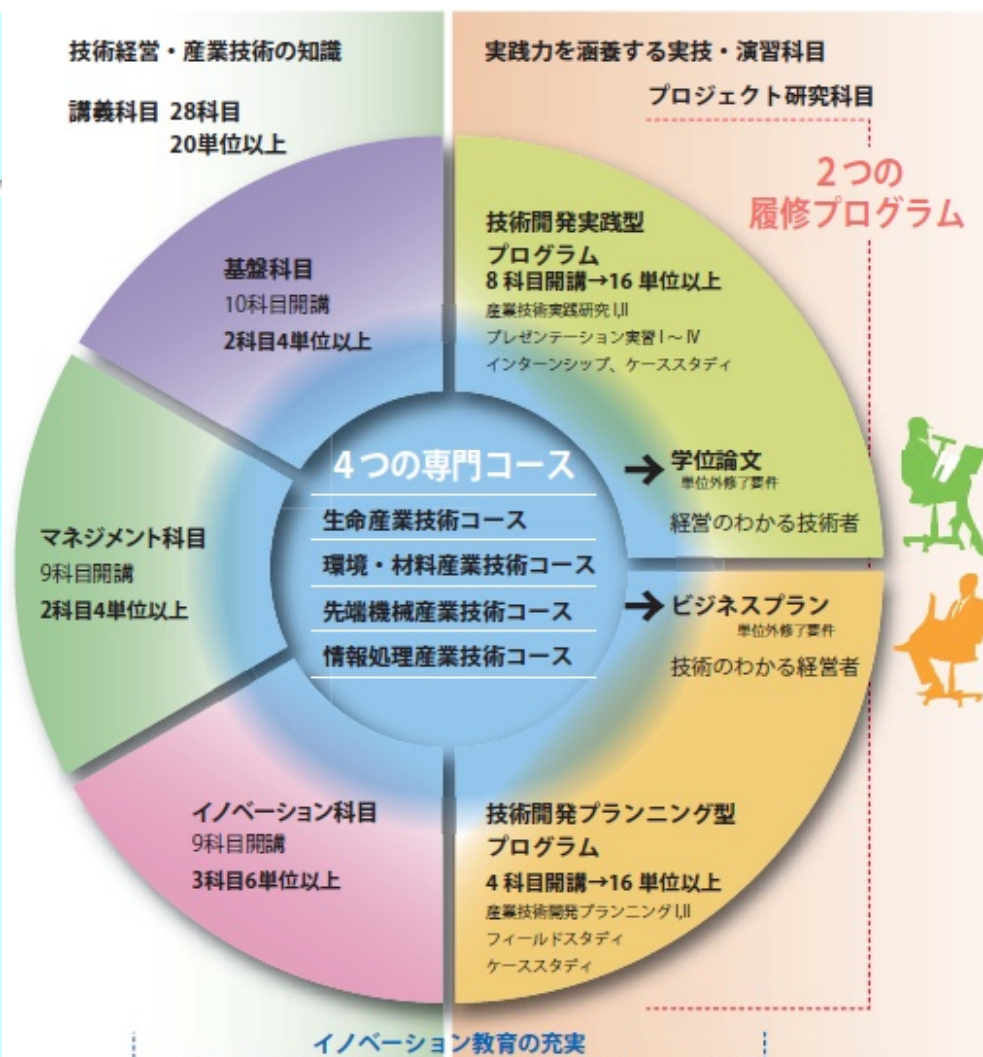
- ✓産業の専門性に対応した技術経営人材育成のため、4つの先端技術分野に特定して最先端知識を包括的に教育。そのうえで経営の知見を付与。職業的倫理の涵養にも努力。

【履修プログラム】

- ✓学生の経験、ニーズに合わせたプログラムとして、「技術開発実践型」（主に新卒学生向け）、「技術開発プランニング型」（主に社会人向け）の2つを用意。

【特徴的な科目例】

- マネジメント科目：知的財産マネジメント、戦略的ビジネスプラン等
- イノベーション科目：機械産業技術論、生命産業技術論 等



<東京農工大学大学院工学府産業技術専攻HPより抜粋>